

様式第4号（第11項関係）

審議会等の会議の記録

審議会等の名称	平成29年度第2回西脇市まちづくり推進審議会
開催日時	平成29年10月26日（木）午後7時00分～9時00分
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター3階ホール
出席委員の氏名 又は人数	直田春夫会長、岸本信子委員、村上均委員、藤井琢己委員、真鍋宣征委員、大前道廣委員、米田育子委員、清水賢一委員、肥田雅之委員、高橋章子委員、小林茂夫委員、吉川勝子委員、計12名
欠席委員の氏名 又は人数	黒崎晃史委員、徳丸徹委員、藤井久美委員
出席職員の職・氏名 又は人数	都市経営部長 筒井研策、まちづくり課長 池田正人、まちづくり課主査 村上尚正、まちづくり課主任 和田裕行 計4名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	1名
議題又は協議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会長あいさつ 3 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) まちづくり活動審査部会審査について (2) 自治基本条例の庁内の進捗について 4 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域自治協議会モデル事業について <ol style="list-style-type: none"> ア モデル地区の現状について <ol style="list-style-type: none"> (ア) 比延地区 (イ) 黒田庄地区 イ モデル地区の課題について <ol style="list-style-type: none"> (ア) まちづくり協議会に加入していない団体への補助金について <ol style="list-style-type: none"> (イ) 一括交付金の繰越金及び積立金について 5 その他（今後の予定等） <ol style="list-style-type: none"> (1) 第3回西脇市まちづくり推進審議会
会議の記録（概要）	

発 言 者	発 言 内 容 等
	<p>○開会 ○会長あいさつ</p>
<p>部 会 長</p> <p>会 長</p> <p>委 員</p> <p>事 務 局</p> <p>部 会 長</p> <p>委 員</p> <p>部 会 長</p> <p>委 員</p>	<p>○報告事項 (1) まちづくり活動審査部会審査について</p> <p>去る10月19日に審査部会を開催しました。今回は、地区からのまちづくりについて2件、市民提案型が2件あり活発に議論をさせていただきました。</p> <p>地区からのまちづくりについては、西脇地区と日野地区から申請がありました。西脇地区については例年通り都合上2回の申請となっておりますが、通年で申請できないかとの提案をしています。よいとこちがうか日野の里については、地蔵一本桜が県の景観の指定を受けていますが、少し弱っている状況なので新たにその治療に取り組みたいとの申請でした。</p> <p>市民提案型については、西脇市吹奏楽団から申請がありました。同じような団体で西脇市オーケストラがありますが、吹奏楽団の方が歴史が古く今回で37回目の定期演奏会です。もう一件はマザーズスマイルという新たな団体をつくり就学前の子どもを対象に支援をしたいとのことで、いずれも前向きな取組であると評価しており部会としては要望通り認めるという形で審査を終えました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それぞれ予算書がついておりますが適切に記入がされていたということでございます。委員の方で御質問御意見があればお伺いします。</p> <p>新しく活動されるマザーズスマイルは、どれぐらいの年齢の方々のグループなのでしょう。</p> <p>代表は50代後半です。活動については就学前のお子様を持つ若い世代の親の社会参加を目指すことであるとお聞きしています。</p> <p>子育てを卒業されたベテランのマザーズの集まりで、子育て世代に対してのアクションは大切なことであるという趣旨で始められたのでいいことだと思います。</p> <p>リンクスマイルより年齢的には上ですか。</p> <p>活動されている方はそうです。いろいろな活動をされている中で今回はこの企画でということです。</p> <p>リンクスマイルについてですが、黒田庄の自治協議会に加入し子育てフェスティバルを中心になって開催され、50組140名ほど</p>

<p>部 会 長</p> <p>事 務 局</p> <p>委 員 部 会 長</p> <p>会 長</p>	<p>の参加がありましたが、それとはリンクしていないのでしょうか、リンクスマイルとの関係はどのようなになっていますか。</p> <p>活動は幅広くされていますが今回申請の事業は未就学の子どもに対するイベントです。常日頃様々な活動をされている方々なのでより積極的に活動していただくことはよいことだと思っています。</p> <p>補足をさせていただきますと書類の整理の段階で疑問に思い質問しました。結果、就学前の子ども対象にするので重なるところが出てきますがリンクスマイルより会員数が多く大きい組織で、一部リンクスマイルの構成員も居て重なる部分があるけれどもリンクスマイルよりも幅広い活動組織であるという説明を受けています。</p> <p>黒田庄だけの活動範囲ですか。</p> <p>いいえ全市が対象です。</p> <p>もう一点、このような企画が出てきてありがたい話であるが予算いっぱい次年度以降もう少し予算を何とかしていただければという思いがあります。</p> <p>マザーズスマイルの話がでていましたが、新しい団体が出てきて補助金で支援できるのはすごく良いことだと思います。類似の発想があればどこかでつながりがあるでしょうから、状況を把握されている方がここにたくさんいらっしゃるの、そういう方々がつなげてあげて、連携されれば効果的だろうと思います。</p>
<p>事 務 局</p> <p>会 長</p>	<p>(2) 自治基本条例の庁内の進捗について</p> <ul style="list-style-type: none">・事務局から資料1「自治基本条例進捗調査」に沿って概要を説明・続けて事前に委員からいただいた資料1に関する質問（(1)地域対策委員としての活動の具体(2)自治基本条例に関する職員研修内容）についての回答を、「第2回まちづくり推進審議会に係る御質問等」の回答欄に沿って説明。 <p>資料1についてですが、各条項に沿ってできるだけくわしく整理されていることは大事なことだと思います。対応は一気に完璧にできるというわけにはいきませんので徐々に進めて行けばいいのかと。例えば審議会の開催状況でもまだまだ公開等足りない部分がありますが、11条のところで、少しずつでもパーセンテージがアップしていくようなことで理想状態に近づきつつあるのかと思います。</p> <p>職員の話も出ましたが、地域対策委員は地域担当職員といわれていることが多いと思われませんが、地域の活動をサポートする役</p>

	<p>割をされています。誤解をされては困るのが、地域対策委員は地域の下請けとかお手伝い、小間使いではないということです。あくまでも支援をするけど、自主的に活動されるのは地域の方です。情報提供、ノウハウ提供、最初にいろいろな形の見本を提示することはあるけれども、地域対策委員に会計や議事録を頼むということはあってはいけません。地域の自主性を損なわない良い関係をつくっていただきたいと思います。うまく配置すれば効果をあげている自治体もありますので、特に初動期には役所のエースを投入していただいて適切な距離間で活動していただくとどちらにとっても大きなメリットになると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>資料2の質問で具体的な例を言うと災害が起こった時にパイプ役になったりするという事なのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今、災害とありましたが、災害となると災害対応は業務命令となるので地域対策委員の職務と少し違います。本来の地域担当職員の業務はパイプ役であって地域の問題を市とのパイプ役として担当課とつないだり、場合によっては助言者となって地域に入るといのが本来の役割です。その他に二つ活動が書いてありますが、実際は応援としての活動が多く、地域の行事の当日のお手伝いに関わったり、もう一点は例えばゴミ拾いをしたり、公共地の草刈りをしたりなど地域対策委員が地区ごとに集まり自主活動をしています。しかしながらこれらは、本来市が目指しているところではありません。庁議で目指している本来の活動になるには少し時間がかかると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>見える活動は応援とかでありがたいと思います。見えないところは、それぞれの業務が忙しい中では大変なことであると思いますが、私たちが分からない地域の問題についてそれぞれのエキスパートが無理にでも時間を設定して話し合われたら心強く思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>地域対策委員はどの様な辞令が出ていますか 対象としては市役所の係長級以上の職員に辞令が出ています。庁議に定まっていることをすること目的に出ていますが実際はその他のことが多いので忙しいとはいえ目的に合った活動となるように努力はしていきたいと考えています。</p>
<p>会長 事務局</p>	<p>みなさん兼務でされているのですか。 そうです。</p>
<p>会長 事務局</p>	<p>自治基本条例の進捗状況調査については続けて行っていただきたいと思います。ホームページに公開されますか。 本日の会議後ホームページに掲載の予定です。</p>

	<p>○ 協議事項</p> <p>(1) 地域自治協議会モデル事業について</p> <p>ア モデル地区の現状について</p> <p>(7) 比延地区</p> <p>(イ) 黒田庄地区</p>
事務局	<p>・事務局から資料2「地域自治協議会モデル事業に関する取り組み状況」に沿って概要を説明</p> <p>・続けて事前に委員からいただいた資料1に関する質問(3)比延地区、黒田庄地区で一括交付金と事業費にズレがあるがどう充当されているか(4)事務局職員の賃金の内訳(5)自治協議会発足後・新加入の団体や新しい活動内容を教えてください(6)女性役員の割合は)についての回答を、「第2回まちづくり推進審議会に係る御質問等」及び「黒田庄つうしん」、「ええまち比也野里だより」の回答欄に沿って説明。</p>
会長	<p>資金的に限られた交付金以上の自主財源を使い色々な事業をして頑張っておられるところがあるということなので地域の自立と言う意味で望ましい形かなと思います。</p> <p>新たな加入ですが、基本的に自治協議会は地域住民すべてがメンバーであるという前提です。団体に関しては、それぞれの地域でどのような形にするか決めればよいと思いますが、申請があれば通るということになっていると思います。これからもどんどん加入して部会のメンバーになっていくとよい形になると思います。</p>
委員	<p>比延では、PTA、子ども会など組織自体の長が男ばかりなので役員となると男性ばかりになります。たまに長の都合が悪い時には副会長の女性の方が来られることがありますが。将来女性の区長が出てくれば新しい形が見えてくると思います。</p>
会長	<p>PTAなどは実際に動くメンバーは女性であったりするし、民生児童委員などは女性が多いので工夫されればよいと思います。</p> <p>比延地区・黒田庄地区で補足があれば。</p>
委員	<p>黒田庄地区で新しく加入があったと報告がありましたが、比延地区でも民間の1社から加入希望がありました。会で相談しメンバーに加わっていただければと思っています。11月26日「黒田官兵衛が思い描いたまちづくり」として黒田庄と一緒に協議会設立のイベントをさせていただきます。</p> <p>協議会ができてイベントをする際には共通の話題があればと思っていますが黒田官兵衛なら黒田庄とも繋がると思います。市とも相談し開催の運びとなりました。</p>
委員	<p>9月の末に補助金を締め切りました。黒田官兵衛の会や自治会</p>

	<p>のカフェなどの申し込みがあり最大10万円の補助金が決定されています。スポーツ振興会ではスポーツ振興のため駅伝を復活させスポーツを振興させようということで申請がありました。人権関係では人権まつりについて補助を決定しています。新規事業では、観光レクリエーションゾーンづくりに60万円の申請がありましたが非常にもめた末補助金は10万円で、不足部分については住民が出て補うことになりました。また、インドヨガの教室に取り組んだところ60名の参加がありました。子どもフェスティバルも4万程度の費用で開催しました。また、情報公開については広報で協議会の状況を報告を行っています。</p>
委員	<p>私は、津万地区でまちづくり活動をしていますが、自治協議会が立ち上っている比延・黒田庄地区とはかなり違ってきているように思います。津万地区としてどんな方向で自治協議会を立ち上げ、どのようなところへもっていけばいいのか思案しかねていません。</p>
会長	<p>立ち上げ時のノウハウは両地区の方に聞くと良いと思うので、徹底的に聞き取るしかないと思います。</p>
委員	<p>現在区長会はまちづくり協議会の中に入ってもらっているのですが本来区長が各町でされている苦情の処理とかについては今のところ各町で対処することになっており、まちづくり協議会には問題として上がってきていません。そのあたりをどのようにまちづくり協議会とドッキングしていけばよいかと考えています。</p>
委員	<p>余りむずかしく考えていません。今ある様々な団体個々には一生懸命やっただけです。個々の団体の思いを共有することにより地域の思いがもっと大きなものになると思っています。</p> <p>思いを共有して地域の課題を解決しませんかというところから始めて、既存の団体の思いを聞いてそれを地域にどのように反映していけばよいかとみんなで話し合うなかで区長さんも加わっていただければ手伝っていただけることになる。</p> <p>区長の任期は来れば終わりになるが中に2～3人残っていただける人もいます。</p>
委員	<p>人の思いをくみ上げるような活動ができればいいと思っているが平均点が上がらないそこが難しい。</p>
委員	<p>津万地区も一つイベントを立ち上げました。既存の団体に声をかけて一つのものとして盆踊りという形になりました。</p>
委員	<p>まちづくり協議会の中に各種団体が入っているので何かイベントをしなければそれらがうまくかみ合いません。イベントを考える中で盆踊りを初めて行いましたがまちづくりの役員としては各種団体が入っているので来て当たり前という意識でいました。し</p>

	<p>かし、各種団体の方は入っている図を見せられても自分の感覚にはなりません。それがたまたま盆踊りというイベントでつながったのは事実ですが、地域自治協議会が始まるという問題も解決できるかなという思いです。</p> <p>津万地区は区長もまちづくりに入って活動していて区長をやめても2年は協力員として残る仕組みになっています。しかしそれ以降は何も役がありません。何も役がないので行きにくいので協力員のOB会をつくってほしいと言われていました。</p> <p>各町の力が弱っている部分を自治協議会が埋めることができればと思います。黒田庄、比延の先進地を見本に津万でもできればと話し合っています。</p> <p>津万地区では16名中5名が女性役員です。地区計画作成をするにあたり若い方にも入っていただいて計画を作成しました。若い人の力は素晴らしいのですが、平日は仕事があり限界があります。</p> <p>事務職員について言えば、慣れた人を求めますが、給料が少ないと特に若い方だとなる方がありません。結局、退職して年金をもらいながらということになってしまいます。事務員の費用としてももう少しでないものでしょうか。</p>
委員	<p>モデル地区の資料を見てびっくりしました。リーダーになる方は大変だと思いますが皆さんがついていって大きくなり様々な活動やイベントをされているのに感心しました。その中の一員になりたいと思いました。</p>
委員	<p>比延地区に住んでいますが、什長会でこの話をしてもほとんど知りません。区長もそれに対して説明もできません。私も携わっていますがここまで比延地区が計画しているのを初めて知りました。そんな状態なのでもっと町の役員をしている方に知ってもらう活動ができないかと考えています。</p>
委員	<p>現状いろいろな活動をされていると思いますが、実際モデル事業として活動されている中で、端的に良かったと思われる点と思うようにいってなくて課題かなと思っておられることはありますか。</p>
委員	<p>以前は区長中心の同じメンバーでしたが、初めて見る人が運営委員に来られています。その中でこんなことがやりたいとの案がでてきました。黒田庄町小苗でのコミュニティカフェもその1つで他の町にもカフェができました。自治協議会になっていなければ、このようなことはなかったと思います。</p> <p>従来区長が中心となって行事を行っていましたが、区長は運営から外れ最終決定機関にのみ関わっているため負担の軽減にもなっています。</p>

委員	<p>計画書を見ながら予算を配分しているがお金の取り合いのようになっているのが課題です。</p> <p>ええまち比也野里には各町から出てきている若いメンバーと定年を迎えた人たちの部。2つの部が支えてくれています。</p> <p>若い人はイベント部分を中心に、年寄りには生活を支える部分を担っています。</p> <p>一番良かったところは、準備しているところは大変だがよかったという声を聞いたとき充実感を得ることができる。このことをみんなが分かち合える状況になってきていると思います。</p> <p>また、人との付き合いの中で人の顔が見えてきて、人を発見できる場でもあります。</p> <p>区長をやめた人にも手伝ってもらっていますが、自主的に参加してもらっています。私が言い続けたことを聞いてくださったのかと思うと大変うれしいし、そのような思いを持った人が頑張れるのが一番大事かなと思います。</p> <p>私も90歳まで生きるの70歳なのであと10年頑張るのでよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>地域自治協議会を立ち上げた間もない状態での効果とは、新しい取り組みをすることで新たな人の接点や交流が増えているということに理解しました。また、課題・問題点はまだ見えていないということも承知しました。</p> <p>また、自治協議会の体制、運営、ガバナンスは「自治」という主旨に則り、それぞれの協議会の裁量で進めています。黒田庄と比延はそれぞれ環境は異なりますが、地域の方々が交流することで協議会が活性化しています。</p> <p>前述の委員がおっしゃる「10年頑張る」も相まって、10年後は相当活性化しているのではないかと期待しています。</p>
委員	<p>比延の役員には女性はいませんが、事務局では4名の女性が活動しています。それぞれが役割を持っていて役割の中で活動しています。人件費の話も出ていましたが確かに人件費のことを言うとしんどいです。この金額で若い方が仕事として来ていただくのは難しいと思います。この辺を改善していくことによってよい方が来てくれると思います。今はボランティアの気持ちでしていただいているがみんなのその気持ちを維持していくためにしっかりと活動していく事が大事だと思います。宣伝すると黒田官兵衛が思い描いたまちづくりが11月26日に開催されます。多くの方に来ていただければと思います。</p>
委員	<p>今いろいろな意見が出てきましたが黒田庄・比延両地区とも非常に頑張っておられます。最初の勉強会のころから見ているがお</p>

	<p>二人の力が大きいと思います。それから運営をうまくされているので非常にありがたいです。予算の件についてはこうしてくれと市に要望を出せばいいと思います。これだけの活動をしているのでということでどんどん要求を今から出していただけたらと思います。楽しさを前面に出していただいて他の地域にこんないいことがあるよと宣伝をお願いできたらと思いますのでよろしくをお願いします。</p>
委員	<p>トップの人材が素晴らしいと思うので現在自治協議会が動いていると思います。これを継続していく事が次の課題だと思います。10年先に次のリーダーが現れてくるようにその辺のところのシステムを考えていかないといけないと思います。</p>
委員	<p>黒田庄地区、比延地区で強いリーダーシップをとっていただいてチームワークを大切にして事業を進められておられるのではないかと思います。</p>
会長	<p>黒田庄地区、比延地区どちらも内容がある発言が続いたと感心しています。</p>
会長	<p>事務局がしっかり動かないとリーダーがしっかりしていても物事が具体化しません。朝来市では当初150万だったのが、250万に上がっています。上げてほしいと言ったのではなく市役所、議会、市民みんなから大変頑張っているという声が出たのではないのでしょうか。世論がそうなれば行政、審議会も動くとおもいます。役員も何をやっているかもう少しアピールしてもいいのではないのでしょうか。役員も頑張っている、事務局もしっかり支えていることそれぞれが大事だということがみんなに理解してもらえらると思います。</p>
	<p>新しく自治協議会を作られるところについては、すでに自治協議会の活動をされている地区の事務局が伝道師のように伝えていただいて、事務局同士が連携して動くという仕組みを作っていただくといいと思います。</p>
	<p>どちらの自治協議会もオープンな感じが非常に良い感じがします。トップダウンだけで物事が動くのではなく、いろいろなところから声が出て一緒にやろうというように関係プレーが見事にできていると思います。</p>
	<p>そういうところからやりたいことが盛り上がってきてそれらをうまく採択することにより地域の活動となります。ある意味理想的な動きだと思います。そうすることが持続的な活動につながっていくという感じがします。</p>
会長	<p>付け加えることはありませんか。 事務局の人材を限られた勤務手当の中で働いていただくことは</p>

	<p>難しい面があります。若い事務局を育てていく事により地域の展開が開けていくと思いますが予算をどうするか、地域でお金を稼いでその中から給与に回すとか可能性が考えられます。それについてはこれから幅広い議論をしていただく必要があると思います。</p>
<p>事務局 会長</p>	<p>地区の課題について</p> <p>(7) まちづくり協議会に加入していない団体への補助金について</p> <p>(イ) 一括交付金の繰越金及び積立金について</p> <p>・事務局から資料3「各市地域自治組織一括交付金制度」及び「黒田庄つうしん」に沿って概要を説明</p> <p>こういう課題があることについて継続的に議論していきたいと考えています。</p> <p>まちづくり協議会に加入していない団体への補助金について当初議論した中では想定していなかったことです。協議会直轄で事業をすることは手が回らないがいろいろな団体が独自でしていることに対して補助することで活動が大きな効果が出るということという仕組みで、ある意味で面白い実験的な仕組みだと思えます。よそにもあまりないと思えます。</p> <p>それが妥当なのかという議論についてはあるかもしれませんが、答えはここで判定する必要はないと思えます。公共的で効果が上がる事業をするために交付金として渡しているのですどのような使い方をしていても良いのではないかと思います。</p> <p>交付金なので、単に横流しに繋がるようなことになるのでは協議会にした意味がありません。そういった形になると困るという議論が一方であると思えます。現在は金額的にも自主財源の中からカバーできている金額なので問題ないと思えますが、こういった課題があるということですね。</p> <p>一括交付金の繰越と積立ですが、仕組みが有るか無いかといういろいろなパターンがあるということです。どんな団体でも繰越をしないと次年度のお金が入ってくるまで動けないという部分もあるので認められるのが普通のパターンであると思えます。</p> <p>何でもかんでも繰り越して交付金がたまっていく事は問題であると思えますので朝来市では25%という縛りをとっている。</p> <p>積立についてもだめなことと良いことあります。自治協議会がコミバスを運行しているところがありますが、バスを購入する、リースの更新をするといった時に使ったり会館を建てる資金を積み立てるということがあるかもしれません。そういった積立を考えるのは普通で、ただ単にお金を積み立ててファンドに投資し</p>

	<p>て儲けるという話ではないと思います。投資は書いてないと思いますが駄目だと思います。そういうことから交付金なのでお金をため込んでいくのはよろしくないという声があるかもしれません。今日は、限られた時間でありますけれども意見を出していただいたらと思います。</p>
委員	<p>いろいろ考え方がありますが、目的をもっての積立や繰越しについては賛成です。</p>
会長	<p>積み立てた金額や、財産目録とか監査を受けるとかは最低限のことです。</p>
委員	<p>実際事業をしている立場からどんな感じをお持ちですか 今のところはわかりません。</p>
委員長	<p>残すというより残らない状況です。</p>
委員長	<p>実際これだけ活動されると残るわけがないという感じがしますね。</p>
委員	<p>何のために使うお金であるかということが明確に予算化されているので原則「繰越」は認められないと思います。認められるケースとしては、イベント費用の支払時期と決算の時期が重なった結果として「繰越」となるケースが想定でき、その点は配慮が必要です。「積立」は必要であると考えます。</p>
委員	<p>今後、様々なニーズやケースが顕在化することが容易に想像できます。それらを都度議論・判断し、事例として積み上げていく必要があります。判断基準は、何のために何に対して、どう予算を使うのかを押さえなければよいのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>今回のケースにおける「補助金」の取り扱いについては、当該ケースで使用する費用を「補助金」という言葉を使用したことが問題であったと私は認識しています。単に第三者の法人・組織・個人に「業務委託」するイメージに近く、その募集のキャッチコピーに「補助金」という表現を使ってしまったということだと想定しています。今後は誤解のないような表現に改めるということが良いのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>積立金や繰越金ならば今年に残るほどないと思いますが、そのうち繰越ができるのであれば比延にすれば移動販売車の買替など目的があると思うので次の販売車を買う資金を積み立てていける仕組みになっていけばと思います</p>
委員	<p>このような時代ですので、残すことも考えていただいたり、工夫をして使っていただいたらいいと思います。</p>
委員長	<p>交付金の一覧表を見ていると西脇が一番低いですね。</p>
委員長	<p>交付金の多さはどれだけ地域が公共的な部分を担うかということにかかっていると思います。高齢化社会を迎え、災害がいつ起</p>

	<p>こるかわからない時代を迎えるについて地域の復元力（レジリエンス）、解決力をいかに整えるか、それにより住民の暮らしが安全安心につながる。豊かになる。そのためには行政だけではできないので地域の人でできることは地域でやるというそういった公共的な位置づけがあるからこそ交付金を支出することをお認めいただける。市民も納得するということであると思います。こういった意味では交付金も地域の自治協議会を中心として公共的な事業を担っていくとなるとそれに対する経費は出してもいいという世論の流れになると思います。</p> <p>財政事情等もあると思いますが、トータルで見れば経費が節減できるという可能性はあるので、むしろ将来的な投資という意味でも交付金があるのではないかとも思います。いかに公共的な活動をするというところに尽きるのかと思います。</p> <p>この議題については今日は問題提起と情報提供という事ですが来年度の最後に答申があるのでどのようにつないでいくかということについては事務局と考えていきたいと思っています。</p>
筒井部長	<p>本日は御多忙の中お集まりいただきありがとうございました。まちづくり一括交付金の本格実施に向けより良い制度設計を検討していきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
問合せ先	都市経営部まちづくり課